

## 使用説明書

# ブローネ Blauné クリームヘアカラー

★ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。  
★ヘアカラーはまれに重篤なアレルギー反応をおこすことがあります。  
★ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。  
今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

## 使用上の注意

### 1. 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分が悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

### 2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には右の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。  
パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭皮以外には使用しないでください。本品は頭皮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るとおそれがあります。
- ④ 顔より直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

### 3. 使用時のご注意

- ① 薬液は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気の良いところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やすすぐ等で薬液が目に入るとおそれがあります。
- ⑤ 薬液が顔、首筋につかないようにしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落とすしてください。
- ⑥ 薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると強い痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬液をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

### 4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

### 5. 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

\* 幼児には使用しないでください。  
\* 認知症の方などの誤食等を防ぐため、置き場所にご注意ください。  
\* 肌に異常が生じていないかよく注意して使用してください。  
肌に合わない時、使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激、色抜け(白斑等)や黒ずみ等の異常が出た時、直射日光があたって同様の異常が出た時は使用を中止し、皮膚科医へ相談してください。使い続けると症状が悪化することがあります。

**注意!** 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方
- パッチテストの結果、異常があった方

下記までご相談ください。

商品に関するお問合せ・ご意見は  
花王 消費者相談室 ☎0120-165-692  
〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3  
<http://www.kao.co.jp/blaune/>

## 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化などにより突然かぶれる場合もありますので、**毎回必ず、染毛の48時間前**にパッチテストを行ってください。

### (1) 次のものを準備します。

- ① 1剤
- ② 2剤
- ③ トレー

- ④ 綿棒
- ⑤ コットンまたはティッシュペーパーなど

ご自分で用意してください。

### (2) パッチテスト用の混合クリームをつくります。

- 1剤のキャップをはずし、キャップ頭部の突起で1剤チューブの口に穴をあけます。(十分にねじ込んでください)軽く押しながら、あずきつぶ大の量をトレー上に出します。
- 次に、2剤チューブを軽く押しながら同量出します。
- 綿棒で混ぜ合わせます。

### (3) 腕の内側にぬって、48時間放置します。

- 混合クリームができたら、綿棒の先端につけ、腕の内側に10円硬貨大にうすくぬり、自然に乾燥させます。
- そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください)混合クリームをぬったところは絆創膏等で覆わないでください。
- ★ぬった部分は茶色などに着色しますが、パッチテスト終了後、通常の入浴により数日程度で落ちていきます。
- ★混合クリームが乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。
- ★ぬった部分が30分経ても乾かない場合は、ティッシュペーパーなどで軽くふき取ってください。
- ★正確な結果を得るために、48時間は、テスト部位をぬらしたり、こすったり、絆創膏等を貼ったりしないでください。入浴やシャワーは、なるべくひかえてください。やむをえない場合は、テスト部位をぬらさないようにご注意ください。

### (4) テスト部位の観察を行います。 (混合クリーム塗布後30分および48時間後の2回)

- ★塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- ★途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、混合クリームを洗い落とし染毛しないでください。

### (5) 48時間経過後、異常がなければ染毛してください。

パッチテストの結果、異常があった場合は、肌の状態や商品について下記までご相談ください。

商品に関するお問合せ・ご意見は ☎0120-165-692

花王株式会社 〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10

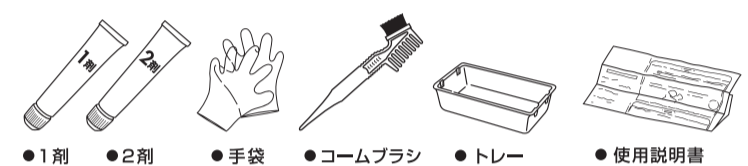
## ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪が生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。  
このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

## 使用前の準備

### 〈必要なものの確認〉

本品の箱に入っているもの



- 1剤
- 2剤
- 手袋
- コームブラシ
- トレー
- 使用説明書

別にご用意いただくもの



- 汚れてもさしつかえないケープまたは大きめのタオル
- 新聞紙などの敷物
- 鏡
- 輪ゴム2個



- 時計
- タオル
- ニヘアクリームなどの水をはじくクリーム
- コットンまたはティッシュペーパーなど

ニヘアはドイツ バイヤスドルフ社の登録商標です。

### 使用前の髪のお手入れ

- ★シャンプーは、使用の前日までに済ませておきましょう。髪がとくに汚れている場合や、整髪料を多めに付けている時、一時着色料(カラーフォーム・ヘアマスカラなど)や金属粉などが髪についている時は、地肌を傷つけないように注意して十分に洗い流してください。
- ★やむなく当日シャンプーする場合は、ご使用前に、髪を乾かしておいてください。髪がぬれていると、液がたれたり、効果が弱くなる場合があります。
- ★ヘアカラーの後にパーマをかけるると色落ちすることがあります。パーマをかける方は、本品ご使用の1週間前までに済ませてください。
- ★髪が長い方や、パーマをかけている方は、髪のかままりや引っかかりを抑えるため、染毛前に髪をとかしておくことをおすすめします。

- 汚れてもさしつかえない衣服に着替え、首にタオルを巻いてください。
- 混合クリームが皮膚についても落としやすいように水をはじくクリーム(ニヘアクリームなど)を耳や顔、えり足などの髪が生え際にうすくつけてください。クリームが髪につくと染毛効果が弱くなりますので注意してください。
- ★皮膚に混合クリームがついた時は、水でしめらせたコットンまたはティッシュペーパーなどで軽くふき取ってください。



## 注意!

- 寒いと染まりにくいので、暖かい場所(20℃以上)でお使いください。

- 大切なご用など、お出かけ直前の使用はさけてください。万一皮膚に色がついてしまった場合を考えると、2~3日前までに染毛されることをおすすめします。
- メガネ、コンタクトレンズ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪などは、はずしてください。
- 液で床などが汚れないように、あらかじめ新聞紙などを敷いてください。(液がつくと落ちません)
- 入浴中の使用はさけてください。
- 金属製のクシやヘアピンなどは使わないでください。

● 違う色番号、色名の商品と混合しないでください。  
違う2つの色を混ぜても、その間の色にはなりません。

★薬液が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。



# 使用手順

1箱全量はショートヘア1回分です。

ご使用前に、毎回必ず裏面の要領でパッチテストを行ってください。必ず裏面の「使用前の準備」をよくお読みください。

## 1 使用する直前に混合クリームをつくります。

混合クリームと仕上がりの色は異なります。濃い紫色や濃い茶色などに変わっても、仕上がりに影響しません。

### 使用量の目安



●前半分の髪を染める場合、取り出すクリームの量の目安は、トレーの端から端まで2列ずつ計4列です。(染める部位の広さ、白髪の量などにより異なります。)

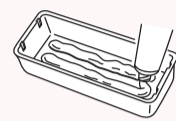
★コームブラシはしっかりとさし込んでください。



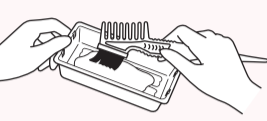
\*1度さし込むとはずせません。

★パッチテストの際にあげた1剤チューブの口が充分に大きいことを確認してください。

1 1剤と2剤を同量ずつトレーに出します。



2 コームブラシのブラシ部で充分に混ぜてください。



3 手袋をします。手袋がずれないように輪ゴムでとめてください。



★混合クリームをついたら、ただちに染毛を始めてください。混合後、60分以上たつと効果がなくなります。

★1剤は最後にクリームが黒色～茶色になって出ることがあります。また、2回目からのご使用の際、1剤の先端が黒くなっていることもあります。いずれの場合も染毛効果には影響ありません。

★使用後のキャップは1剤(ピンク色)と2剤(白色)をまちがわないように、きちんと閉めてください。

## 2 混合クリームを髪につけます。

### コームブラシの上手な使い方

- ① 図のように柄の先で髪を分けながら、ブラシ部で混合クリームをつけます。
- ② 髪全体につけたあと、クシ部で全体になじませます。(この時、髪についた混合クリームをクシの歯でしごきとらないようにご注意ください。)



- 白髪の多い部分は、混合クリームを多めにつけてください。
- 混合クリームが耳や生え際についた時は、すぐに水でしめらせたティッシュペーパーなどでふき取ってください。
- クシを使う時は、地肌を傷つけないようにご注意ください。

### ●髪全体を染める方法

20分以内

約15分

1 髪の前半分にブラシ部でつけます。



白髪の目立つ部分からつけます。

- ① コームブラシの柄の先で髪を分け、混合クリームをブラシ部にとり、髪の根元につけます。
- ② さらに、中間→毛先の順序で混合クリームをつけていきます。
- ③ 次の部分の髪を分けとり(2cm幅位)、①→②をくり返します。

2 髪の後半分にブラシ部でつけます。



えり足からつけます。

- ① 混合クリームを髪の根元につけ、毛先まで伸ばします。
- ② 次の部分の髪(頭頂部寄り)を分けとり、同じように染めていきます。

3 髪全体にクシ部でなじませます。



コームブラシのクシ部で髪全体によくなじませます。

4 最後に、もう1度生え際や白髪の目立つ部分につけます。

5 15分位そのままにします。



\* 太くて硬い髪などの染まりにくい髪質の方は5~10分位長めにするをおすすめします。

\* 実際の染め上がりの色や白髪の目立ちにくさは、もとの髪色や髪質、白髪の量により異なります。

### ●新しく生えてきた部分を染める方法(リタッチ)

20分以内

約10分

約10分

2回目からも毎回必ずパッチテストを行ってください。

\*すでにカラーリングした部分からめると暗くなる場合があります。はじめに根元だけにつけるのがポイントです。

1 新しく生えてきた部分にブラシ部でつけます。

新しく生えてきた髪の根元に混合クリームをたっぷりつけます。

2 10分位そのままにします。

\* 太くて硬い髪などの染まりにくい髪質の方は5~10分位長めにするをおすすめします。

3 すでに染めている部分になじませます。

髪全体の色調を合わせるために、根元の混合クリームをコームブラシのクシ部で、すでに染めている部分に伸ばします。

4 5分位そのままにします。

### 白髪の目立つ部分だけを染める方法

- ① 白髪の目立つ部分にブラシ部で混合クリームをたっぷりつけます。
- ② クシ部でよくなじませます。
- ③ 15分位そのままにします。

\* 詳しくは「髪全体を染める方法」や「新しく生えてきた部分を染める方法」を参考にしてください。

## 3 放置時間がすぎたらよくすすいだあと、シャンプー・コンディショナー等を行います。

シャンプーはいつもよりていねいに2回してください。

- すすぎ液が目に入らないように注意してください。
- 髪の傷みが気になる方には、トリートメントの使用をおすすめします。



★髪を十分に乾かしてください。

★次のような場合は、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。

- ・髪がぬれているとき。(汗をたくさんかいたとき、雨にぬれたとき、水泳、洗髪後、頭髪用品の使用後など)
- ・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。

### 次回からの染毛のために

●チューブに残ったクリームは次回そのまま使えます。キャップをしっかり閉めて保管してください。●暗めに染まった髪色を1回で明るく染め変えることは困難です。次回の染毛から1段階明るめの色を使用し、徐々に明るくしていきます。●髪の傷みを防ぐため、1ヶ月に1回程度のご使用をおすすめします。●リタッチを繰り返すと色ムラが出る場合がありますので、3ヶ月に1度は髪全体を染めることをおすすめします。

注意



混合したクリームの残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。